

Library NEWS

～図書館だより～



令和3年度 晃陽中学校図書館

もうすぐ夏休み。好きなだけ本を読むことができますね。
充実した夏休みを過ごしましょう。

全国の書店に置いてある無料の冊子「ナツイチ」に
町田美紀先生の感想が採用されています。
本屋さんに行ったらぜひチェックしてください♪



短編集どれも面白い。
松井玲奈すごい。
『累々』も楽しみ。
(美紀ちゃん)



**課題図書が
入りました。
借りられます。**
裏面に解説があります。



第67回

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援／内閣府・文部科学省 協賛／サントリーホールディングス株式会社

夏休みは5冊！

夏休みの特別貸出を実施しています。
今まで借りたことのないジャンルに挑戦するチャンス！
色々な本を借りてみましょう。
5冊借りられます。
作文・自由研究の参考になる本など、たくさん本をそろえています。夏休み用の本を借りましょう。

新しい本が入りました





課題図書

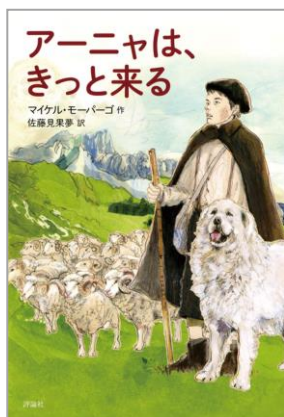


2021.7



「ウィズ・ユー」 濱野 京子 著 くもん出版 245p

中学3年受験生の悠人。夜のランニング中に公園で疲れた様子の朱音を見かけ会話をするようになる。朱音の父は単身赴任中で小さい妹がいる。そして病気の母を抱えるヤングケアラーだった。受験、介護問題、別居中の父親、中学生の時期のモヤモヤ。自分をどう表現したらいいのかわからない焦り。一歩踏み込んで話してみる大切さに共感できる。困っていることやつらい状況を話せず、助けてと言うということすら思いつかない辛さ、同情されたくない気持ちが、よく伝わってくる。考えさせられることが多い話。



「アーニャは、きっと来る」 マイケル モーパージェ著 評論社 205p

フランスとスペインの国境の村が舞台。ドイツ軍からユダヤ人を逃がそうとする少年と村人の話。羊飼いのジョーは、子熊を探しているうちにユダヤ人のベンジャミンと出会う。ナチス支配下の国では、ユダヤ人というだけの理由で住処を追われ、命まで失う。軍隊の伍長は善良な人だったが、どんなに戦争に疑問を持っていようと、軍の命令には逆らえない。戦争で過酷な経験をした兵士は、帰還後も以前の生活には戻れないほどの心の傷を負うことなどを学んでいく。アーニャは希望の象徴だった。悩んだりおびえたり、怒りをあらわにしたりする12歳のジョーの成長に共感するストーリー。誰のために何をすべきなのかということを考えさせられる。映画化されていてこちらも見てみたい。



「牧野富太郎 日本植物学の父」 清水 洋美 著 汐文社 174p

「日本植物学の父」と言われる牧野富太郎の研究にける情熱と生き方、支えたまわりの人物などが紹介されている。植物のつくりや分類のしくみなど、科学的資料も満載。富太郎の人柄は圧倒されるすごさがある。植物を愛し、知識を出し惜しみせず、人に広めることに命をかけた人生だった。研究者になることを決意した時に作った約束事を見習いたい。伝記だが小説のようなストーリー。好きなことに打ち込む時間を大切にしたい人の話。

予約できます。